

子ども自身が遊びをつくる——
誰でも集える野外の遊び場

冒険あそび場
プレーパーク

単に公園の遊具で遊ぶのではなく、子どもが創造力を働かせながら遊びをつくり出せる場「プレーパーク」。ここでは穴を掘ったり、木に登ったり、時にはどろんこになりながら、自分のしたいことに挑戦できます。

子どもの自由な発想を大切にするために、禁止事項をできるだけ少なくし、子どもの好奇心をかき立てる道具を取り入れるなどの工夫もしています。こうした取り組みが札幌に広がり始めたのはここ数年のこと。子どもの創造性を育む場として注目されています。

〔詳細〕
子どもの権利推進課
☎211-2942

プレーパークとは

どんなところ？

子ども自身が、屋外で思い思いの「遊びづくり」を楽しみます。

何ができるの？

木の枝やロープ、段ボールなどを使って自由に遊びます。

どこでやってるの？

市内の大きな公園を中心に開催しています。

危なくないの？

遊び場の安全を見守り、活動を支える大人のスタッフがいます。

プレーパークスタッフから

自由な発想で
思いっきり
遊んでほしい

さいとう じゅんこ
斎藤 順子さん

“面白い”と感じることを思う存分できることは、子どもの成長にとって大切なこと。遊んでいる子どもの顔は本当に生き生きしていますよ。見守っている大人も一緒に楽しみながら、地域で子どもたちを育てていけるといいですね。



楽しみがいっぱい！

新しい遊びを思い付いた時は、発明家になった気分！木にロープを張った綱渡りや段ボールを使った基地作りなど、わくわくすることがたくさんできるよ。



なかむら けんた
西岡公園のプレーパークに参加した 仲村 拳汰くん

プレーパークは、円山公園（中央区）や西岡公園（豊平区）など市内各所で実施しています。

開催場所や時間など詳しい情報は、区民センターや児童会館、まちづくりセンターなどで配布中のパンフレットやホームページをご覧ください。

札幌 プレーパーク

検索

子どもの心豊かな成長のために

美術鑑賞や自然遊びなど、日常と違った体験から生まれる感動や養われる創造性は、子どもの心を大きく成長させます。こうして磨かれた感性は、人間味豊かな大人になるための大切な財産です。この夏、子どもの感性を育む場所へ、出掛けてみませんか。

みんなの声を届けよう！

市では、さまざまな場面で子どもの意見を生かす取り組みを進めています。現在、下記の2つのテーマについてアイデアを募集しています。

提案・意見
募集中！

テーマ1

閉校した小学校で、どんなことをやってみたい？

対象 小学5年～高校3年

応募方法 区役所、各学校で配布中の応募用紙を、7/31(水)まで。ホームページからも応募可能。

テーマ2

札幌の博物館を楽しくするアイデアを聞かせて！

札幌 子ども みんなの声

検索